

計画事業番号	00614	事務事業名	市道整備事業(補助)	担当部署	建設部都市整備課	電話	4233
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	道路法、道路構造令			
事務事業開始年度	平成24年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 3 節)	道路の整備
	(施策 1)	市内幹線道路・生活道路等の整備
2 対象	沿線住民及び通行車両	
3 目的と内容	未改良区間や老朽化した路線の整備を拡大し、安全で快適な道路環境を確保する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	全体計画延長 L=10,197m 中央通線(完了) 歩道整備 L=4,448m(両側) 南9号線(工事負担金)(完了) 橋梁上部工、旧橋撤去工、取付道路工 広葉町10番通線(完了) 歩道整備 L=130m 大曲椴山線 函渠工 L=30.5m 擁壁工 N=2箇所、用地取得 共栄南1号線 用地取得、物件補償 輪厚中央通 道路改築 L=545m 用地取得、物件補償
	29年度	大曲椴山線(JR工事負担金)橋梁下部工 N=1基 (道路改築工事)雨水排水工 L=680m、用地取得、物件補償 共栄南1号線 道路改良工事 L=290m 輪厚三島線 用地取得 南9号線 用地取得

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
南9号線 取付道路工、橋梁上部工、旧橋撤去工 大曲椴山線 擁壁工、用地取得 共栄南1号線 物件補償 輪厚中央通 用地取得、物件補償	南9号橋 橋梁上部工、旧橋撤去工、取付道路工 大曲椴山線 擁壁工 N=2箇所 共栄南1号線 物件補償 輪厚中央通 道路改築 L=545m 用地取得、物件補償	大曲椴山線 橋梁下部 N=1基、雨水排水工 L=680m、用地取得、物件補償 共栄南1号線 L=290m 輪厚三島線 用地取得 南9号線 用地取得	大曲椴山線 L=510m 橋梁下部 N=1基 橋梁上部製作 共栄南1号線 L=300m 用地補償 輪厚中央通 L=545m (舗装工)	大曲椴山線 L=580m 橋梁上部架設 共栄南1号線 L=210m

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。歩行者や車両等の通行の安全を確保するため、関係機関と協議を行いながら事業を進める。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
決算額、当初予算額又は推進計画額		389,806	550,689	542,690	443,182				
事業額	直接事業費	国支出金	250,069	333,636	330,400	264,600			
		道支出金	0	0	0	0			
		地方債	116,900	188,900	188,000	160,500			
		その他特財	28	0	0	0			
		一般財源	22,809	28,153	24,290	18,082			
		① 合計	389,806	550,689	542,690	443,182			
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	2.00	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50
③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
④ =②×③	16,800	0	21,000	0	21,000	0	21,000	0	
総事業費①+④		406,606	571,689	563,690	464,182				

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①整備延長	目標値	5,032	5,867	7,417	8,947
		実績値	5,032			
	②	目標値				
		実績値				
	③	目標値				
		実績値				
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	①整備率	目標値	49.6	52.2	72.7	87.7
		【累積整備延長/全体計画延長】 実績値	49.3			
	②	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				
	③	目標値				
【指標の定義(算式等)】 実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	道路を利用する歩行者や車両等の通行の安全を確保するために行政が道路整備を行うことは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	国の社会資本整備総合交付金及び防衛施設周辺整備統合事業費補助金を充当して実施していることから、各年度の補助金等の配分に応じた整備を行っており、計画どおりには進捗しない面がある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	路線の整備計画内容に応じた補助金制度を活用することで成果の向上を図る。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	道路の新設や改築に際しては、常にコストの削減を図りながら事業を進めている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---